

第4学年 国語科学習指導案

指導者 京都市立第四錦林小学校 角川 哲平

1 日 時 令和4年 6月30日(木) 第5校時(13:25~14:10)

2 学年・組 第4学年2組(19名)

3 単元名 新聞を作ろう

4 単元の目標

- ◎相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるようにする。(思・判・表B(1)ア)
- ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができるようにする。(思・判・表B(1)イ)
- 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使うことができるようにする。(知・技(2)イ)
- 間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えることができるようにする。(思・判・表B(1)エ)
- 進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとすることができるようにする。(主体的に学習に取り組む態度)

5 単元の評価規準

- 知識・技能・・・知
 - ①比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方を理解し使っている。(2)イ)
- 思考・判断・表現・・・思
 - ①「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)
 - ②「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)
 - ③「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)
- 主体的に学習に取り組む態度・・・態
 - ①進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとしている。

6 単元について

【育成を目指す資質・能力】

本単元の内容は、学習指導要領において次のように示されている。

[思考力、判断力、表現力等]

B 書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。

【単元を通した言語活動】

本単元では、グループで役割分担して一枚の新聞を作成する。よって、新聞の大きなテーマを決める際に、話し合い判断する力が求められる。話し合い判断するときには、合意形成し意欲的な活動にする必要がある。

本単元では、「クラスみんなにクラスメイトのよさが伝わる学級新聞をつくる」と設定し、グループで一つの新聞を作る。相手や目的に応じて伝えたいことを明確にして取材活動を行い、伝えたい内容が伝わるように文章の構成を考えて学級新聞づくりに取り組む。

学級新聞は、児童が読み手の顔を思いうかべることが容易である。さらに、掲載内容を自ら決めることで「伝えたい」という思いを強く持つことができ、児童が意欲的に取り組める活動である。そのため、相手や目的を意識して（単元の目標の一部から抜粋）取材活動を工夫したり、書き方を工夫したりするだろう。「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」を育成するにあたってふさわしい言語活動であると考えられる。

【単元構想】

○「出会う」

- ・実際の新聞を比べて読むことで、児童が自ら新聞の構成の特徴を捉えられるようにする。また、それらの特徴を生かして自分たちの新聞を作る計画を立て、意欲が高まるようにする。
- ・伝える相手として「〇〇」を設定したり、新聞記事の内容を自分たちで話し合っただけで決めることで、子どもたちの意欲が高まるようにする。

○「追究・表現する」

- ・相手や目的を明確にすることで「事実を分かりやすく報告する学級新聞を作るために学ぼう」という必然性を持たせて指導事項を指導する。
- ・どのような新聞を作るかに話し合う時には、新聞を読む相手と目的を明確にしてから取り組むようにし、グループでの合意形成が円滑に行えるように配慮する。
- ・教材文を読み、新聞の特徴や作り方の手順、割り付けの工夫について確かめ、グループで役割分担できるようにする。
- ・新聞のテーマに沿って必要な情報を得るために、どのように取材するかを話し合うようにする。
- ・グループで互いの意見や考えを一つにまとめるために、互いにおおむね満足できる新聞づくりを目指すように指導し、合意形成ができるようにする。
- ・ロイロノートを活用したアンケート作成の手順を知り、手に入れた情報に合わせて質問を考えられるようにする。
- ・アンケート結果から、割り付けや見出しについて考え、伝えたい情報を取捨選択できるようにする。
- ・「聞き取りメモのくふう」のノートや壁面掲示を振り返って学習したことを思い出すことで、大事なことを落とさずにインタビューなどの内容をメモに取ることができるようにする。
- ・「要約するとき」のノートや壁面掲示等を振り返って学習したことを思い出すことで、取材したことを分量に合わせて分かりやすく要約することができるようにする。
- ・「アップとルーズ」の学びをふり返って、図表やグラフ、写真があることでより効果的に自分の考えを伝えられることに気付けるようにする。また、引用は、文章表現や情報だけに限らず、図表やグラフ、絵や写真なども含むことを指導する。
- ・自分が書いた文章をグループで共有し説得力があるところについて、意見や感想を交流する。
- ・各自が書いた記事をグループ内で読み合い、意見や感想を交流する時間を設定することで、説得力のある文章を書くために大切なことに気付けるようにする。

○「生かす」

- ・取材の仕方や新聞の書き方について感想を伝え合ったり振り返ったりすることで、情報収集と記述の両面から事実を分かりやすく伝えるために大切なことを確かめることができるようにする。
- ・資料を用いた時の効果について考えることで、これから自分の考えを伝える文章を書くときには図やグラフを積極的に使うなど書き表し方を工夫しようという意欲をはぐくむ。

【児童観・指導観】

学習内容や資質・能力に関わる児童の実態	児童の実態に対する具体的な手立てや支援
<p>【知識及び技能】</p> <p>○書くことについては、毎朝の課題作文に継続的に取り組んでおり、8分で200文字以上書くことができる児童が多く在籍している。しかし、5W1を整えたり、文章構成を組み立てたりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>○GIGA 端末を使用するにあたって、ローマ字を使ったタイピングをすることができる。</p>	<p>今回の学習では新聞を作成するにあたって、グループで交流しながら活動する。よって、児童同士助言し合いながら進めることができる。</p> <p>文章を書くことが苦手な児童に机間巡視の際に声掛けをする。</p>
<p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>○「アップとルーズで伝えよう」の単元では筆者の思いや考えに気づき、文章の中心を見つけることができる。</p> <p>○「白いぼうし」の単元では、本文の事象に対して問いを持つことができたが、その答えを文中から結びつけることにおいては儒分といえない児童もいる。</p> <p>○言語活動については、グループの話し合い活動の際に、私語や改まった言葉遣いが難しくなる児童が多い。</p>	<p>今回の学習では読み手を想像して質問を考えたり、文章を書いたりすることから、グループの話し合い活動を経て交流することによって、文章や質問を客観視し、見直す機会を作る。</p>
<p>【学びに向かう力・人間性等】</p> <p>○三年「山小屋で三日間すごすなら」の単元で、何を持っていくかを自分で考え、それをまとめる話し合い活動では持ち寄った意見を出し、お互いに譲歩しながら考えをまとめることができた。</p> <p>○三年「はんで意見をまとめよう」の単元では、「一年生へ絵本の読み聞かせをする」と相手意識を持つと、進んで話し合いの進め方を確認し、司会などの役割をたてて考えをまとめようとすることができた。一方で、落ち着いて話し合うことが難しい児童もいる。</p>	<p>学級新聞の内容を絞らずに取り組むことによって発信したいテーマについて意欲的に学習に向かう姿勢を維持させる。また、課題に取り組む時に、誰に向けた新聞にするかを決めさせることによって、相手意識を持ち意欲的に取り組むことができる。</p>

7. 指導計画【指導のポイント ④手立て !配慮事項 ⑤他教科等との関連 ⑥個別支援】

時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	評価態①
出会う	<p>1</p> <p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>◆新聞の特徴を見付けよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞名、発行日、発行者が書かれているね。 ・図や写真があって分かりやすい。 ・見出しを読むだけで、何の記事か分かるよ。 ・いろいろな話題が載っているね。 <p>【学習課題】事実を分かりやすく報告する学級新聞を作ろう。</p> <p>○学習計画を立てる。</p> <p>◆新聞を作るために、どのようなことが必要な。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような新聞を作るかを決める必要がある。 ・記事を書くために、調べる必要がある。 ・どこに何を書くのかを決める必要がある。 ・記事を書いたり、写真や図を用意したりする必要がある。 	

追 究 ・ 表 現 す る 7 本 時	2	○どのような新聞を作るかについて話し合う。 ◆グループで話し合って、テーマと相手を決めよう。 ・学級新聞だから、クラスの出来事をテーマにしたらどうか。 ・クラスのいいところも紹介したいね。 ・クラスみんなにインタビューをしてみてもいいね。	思①	
	3	○取材には、どのような方法があるのかを話し合う。 ◆どのように取材をしたらよいか。 ・実際に見て調べたり、図書館やインターネットで調べたりしたらよい。 ・インタビューをしたり、アンケート調査をしたりしたらよい。	思① 知①	
	4 5	○出来事や事柄を正しく伝えるために、どの取材の仕方がよいかを考え、取材をする。 ◆どの取材の仕方がよいかを考えて、取材をしよう。 ・クラスみんながこのクラスのことをどう思っているのかが知りたいから、アンケートを取ろう。 ・担任の先生はクラスのことをどう思っているのだろう。インタビューしてみよう。	思①	
	6	○教材文を読み、割り付けの工夫について確かめる。 ◆どのように新聞を作っていたらいいのかを確かめよう。 ・記事を書く前に、「わり付け」をする必要があるのだな。 ・記事の内容によって、記事を入れる場所を決めるのだな。	思①	
	7	○取材メモをもとに、割り付けを考える。 ◆グループで話し合って、割り付けを考えよう。 ・一番のニュースだから、見出しも大きめに書こう。 ・この記事は、表も入れたいから、もう少し場所がほしいな。	思② 知①	
	8			
	9	○取材メモを基に、記事を書く。 ◆取材メモを基に、記事を書こう。 ・読みたくなるような見出しを付けよう。 ・読む人が分かるように、もう少し詳しく説明をした方がいいね。	思③	
	10			
	11	○記事を推敲し、清書して、仕上げる。 ◆記事をグループで読み合って確かめよう。 ・文字の間違いはないかな。 ・アンケート結果は正しく書けているかな。		
	生 か す	12	○完成した学級新聞を読み合い、感想を伝え合う。	
		13	◆完成した新聞を読み合い、書き方や内容について感想を伝え合おう。 ・アップとルーズの写真を使い分けていて、分かりやすかった。 ・初めて知ったことが載っていて、面白かった。 ◆取材の仕方や新聞の書き方について振り返ろう。 ・本やインターネットで調べるだけではなく、インタビューをしたりアンケートをとったりして取材する方法がある。 ・事実を分かりやすく伝えるには、伝えたいことを中心をはっきりさせるとよい。 ○単元における学びを振り返る。	態①

記録に残す主な評価場面

- ・態①「新聞の特徴を見付けている姿や特徴を書いたノート」【1時間目】
- ・知①「取材の方法をまとめたノート」【4時間目】
- ・思①「取材メモをもとに取捨選択した新聞の割り付け」【7時間目】

8 本時について（7 / 13）

（1）目標

相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができるようにする。（思・判・表B(1)ア）

（2）展開

○学習活動 ◆発問 ・児童の反応	◇支援 *留意点 ㊦個別支援
<p>○本時の学習のめあてを確かめる</p> <p style="text-align: center;">取材メモをもとに、読みたくなるわりつけを考えよう。</p> <p>○割り付けを考えるために、目的を確認させる。</p> <p>◆みんなだったら、どんな新聞を読みたくなりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことを知れる新聞 ・新しいことが知れる新聞 ・見やすい新聞 <p>◆そのためには、どんなトップ記事が必要ですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろいトップ記事 ・意外なトップ記事 ・みんなが驚くトップ記事 <p>○新聞の割り付けを決めるためにグループで話し合う。</p> <p>◆割り付けをグループで話し合しましょう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（相手）にとって、この事実が意外だと思うからこの記事を大きくしたい ・この記事をトップ記事にしよう ・（相手）が知っているかもしれないから、もう少し小さくしよう。 <p>○本時の学習を振り返り、次時の内容を知る。</p>	<p>◇本時の学習の流れを確認することで、見通しをもって学習に臨めるようにする。</p> <p>*割り付けを円滑に決めるために、どのような新聞が魅力的かを話し合い、イメージを持たせる。</p> <p>*第3時で決めた相手を再確認し、話し合いの基準を決める。</p> <p>*魅力的な新聞にするために、お互いの良い所を認め合うことを指導する。</p> <p>*新聞の割り付けを決めるためのメモを取るために、白紙のA3用紙をグループに渡す。</p> <p>◇見通しを持つために、話し合い項目の順序を示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「トップ記事を考える」 ②「事実を分かりやすく示すための記事の大きさを決める」 ③「写真や図、表の大きさを決める」 ④「新聞の名前を決める」 <p>㊦声掛けをすることによって、自分の思いを話し合い活動に参加できるようにする。</p> <p>◇学習を振り返り、次時の内容を知ることによって、見通しを持たせる。</p>

(3) 評価

【思⑤】

「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(・話し合い活動・割り付け)

「おおむね満足できる」状況と判断できる「発言・記述」

グループでのテーマに沿って自分の考えを発表し、どんな割り付けにするのかを話し合っている。

(4) 板書計画

新聞を作ろう

めあて

- ① 「トップ記事を考える」
- ② 「事実を分かりやすく示すための記事の大きさを決める」
- ③ 「写真や図、表の大きさを決める」
- ④ 「新聞の名前を決める」